

大雨などに備えて万全の対策を!! 6月1日～30日は「土砂災害防止月間」です

一瞬にして人命や財産を奪う土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害のほとんどが、台風などによる長雨や大雨が引き金となって起こります。土砂災害の一般的な前兆は次のような現象です。

土石流

- ・急に川の流れが濁り流木が混ざりはじめる。
- ・山鳴りがする。
- ・雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。

土石流



地すべり

- ・沢や井戸の水が濁る。
- ・地面にひび割れができる。
- ・斜面から水がふき出す。

地すべり



がけ崩れ

- ・がけに割れ目が見える。
- ・がけから水がわき出ている。
- ・がけから小石がばらばらと落ちてくる。

がけ崩れ



※これらの現象が土砂災害発生の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

土砂災害に遭わないためには、日頃からの備えがとても大切です。

日頃の備え

○非常持ち出し品を準備しておく

いざというときに、すばやく行動できるよう非常用品を防災袋に入れて常備しましょう。

○自宅や身近な場所の危険箇所、避難所を確認しておく

日ごろから住んでいる地域の危険度をハザードマップ等で把握しておきましょう。

○避難する途中の道に危険な場所がないか確認しておく

無理な避難行動がかえって危険を伴うことがあります。夜間や暴風雨などで、避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な2階以上の建物に緊急避難したり、さらに困難な場合は、家の中の崖から離れた部屋や2階などの少しでも安全な場所に避難しましょう。

○テレビやラジオ、インターネットなどの気象情報に気を配る

最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。

※町ホームページの防災情報の項目の中の、日の出町雨量

観測をクリックすると役場と肝要の里の雨量を確認することができます。(スマートフォンからも閲覧可)

○防災訓練等に参加する

町や自治会等で行う防災訓練に参加しましょう。また、災害時に隣近所で助け合いができるような体制を整えましょう。

